



YOKOHAMA FUTABA PRIMARY SCHOOL



横浜雙葉小学校

徳においては

純真に

義務においては

堅実に

神に対して

他人に対して

自分に対して

誠実であるように

自分のすることは

努力と責任をもって

最後までやりとげるように

横浜雙葉学園校歌

一、雪にもたえて 栄ゆく春の

松のみどり 時はいまぞ

いざやならえ いざやならえ

いざや かえぬみさお

二、めぐみの雨に ひもとく百合の

花のつぼみ 園はここぞ

いざやまなべ いざやまなべ

いざや 高いいろ香

横浜雙葉小学校
YOKOHAMA FUTABA ELEMENTARY SCHOOL

校長あいさつ



横浜雙葉小学校は、元町公園、港の見える丘公園をはじめとした緑豊かな風致地区にございます。自然あふれる横浜山手の丘に位置し、子どもたちは、春夏秋冬移ろいゆく四季折々の景色を眺め、その鼓動を感じながら通学しています。

本校は福者ニコラ・バレ神父によって創設された「幼きイエス会」の修道女マザー・マチルドが創始したカトリックの女子校です。キリスト教教育を基盤とし、祈りを通してイエス・キリストと出会い、神に生かされている自分に気づき、他者のために尽くす心を育てています。

神は私たち一人ひとりに豊かなタレント(才能)をお与えになりました。人生をどのように生きていくのかということは、言い換えれば、自身が持つタレントを他者のためにどう生かしていくのか、ということです。神から授かった固有の恵みを地球社会の中で十分に生かしていくことができるよう、小学校生活6年間を通してその礎を築いてまいります。

神に守られた学び舎で、神を愛するように自分を愛し、他者を思いやる心を大切にしながら、一人ひとりの品格、知性、教養を磨いてまいります。横浜雙葉小学校では、その人自身に内在する独自で豊かなタレントを引き出し、将来、その力を必要としている世界の人々の助けになれる、軸のある子女教育を進めています。

校長 池田 純一郎



福者ニコラ・バレ神父(幼きイエス会の創始者)
(1621～1686)

1662年、北フランスのルアンの郊外に貧しい子どもたちのための小さな学校が開かれ、人々は創立者の名前をとって、「バレ神父の学校」と呼んだ。バレ神父は、当時徳の高さと学識の深さで尊敬されていたミニム会という修道会の司祭であったが、この学校で献身的に子どもたちの世話をする女教師たちを集めて「幼きイエス会」という女子修道会を創設した。1999年3月バレ神父はローマ教皇によって福者(聖人になる前の段階)として認められた。

現在、「幼きイエス会」はバレ神父の想いを受けつぎ、人々がキリストを知り、愛し、神の似姿に成長することを目指して、ヨーロッパのみならずアジア、アフリカなど世界各地で多様な教育活動を行っている。国内では、本学園の他に雙葉学園、田園調布雙葉学園、静岡雙葉学園、福岡雙葉学園、サンモールインターナショナルスクールの姉妹校がある。



マザー・マチルド(学園の創立者)
(1814～1911)

フランスのラングルの「幼きイエス会」の学校に通っていた少女ジュスティン(後のマザー・マチルド)は、成人したら修道女になって日本に宣教に行きたいという夢を抱いていた。1872(明治5)年、マチルドが58歳でシンガポールの「幼きイエス会」の修道院長であった頃、横浜山手教会のプチジャン司教から日本の子どもたちの教育を要請する手紙が届き、マザーは4人の修道女とともに横浜の港に上陸した。マザー・マチルド達は来日した最初のカトリック修道女である。言葉と偏見の壁を乗り越えて、マザーは恵まれない子どもの教育に奔走し、その年の暮、「仁慈堂」という日本最初の子どものための養護施設を創設した。その後、横浜の居留地に住む外国人の子どもの教育や病院の管理などにも携わり、ついに1900年高等教育を望む女子のために、横浜雙葉学園の前身である横浜紅蘭女学校を創設し、カトリックの教えに基づいた女子教育を展開するのである。



生きる

「神の似姿」として
つくられた人間に
ふさわしく成長していく



祈る

神に生かされている
人間の神秘に気づいていく





創る

自分を表現しながら
真実の自分になっていく



育む

人とのかかわりを通
して互いに生かし合う





行動する

地球社会の一員として
共生と連帯を生きていく



学ぶ

ともに学び
聴き 発表して
考える力をのばす





▲ 横浜雙葉小学校創立百周年記念式典

❧ 創立百周年を迎えて ❧



▲ 百周年レリーフ



▲ 記念ミサ 按手

❧ マザー・マチルド来日150周年記念ミサ ❧



▲ マザー・マチルド来日150周年記念ミサ

つなぐ

自分の力を
まわりの人のために
役立てる

❧ 卒業生とのつながり ❧



特別授業 司法の世界



卒業生 (元裁判官)



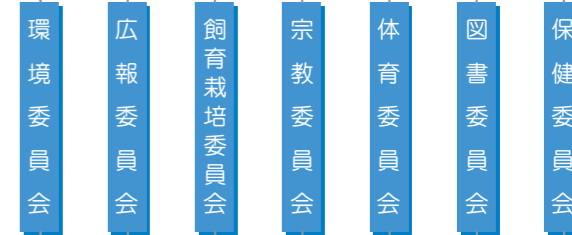
マーガレットの会 集い

児童会



児童会活動は、学校生活を明るく、楽しく、豊かにするために自分たちの力で運営していく活動です。全員が協力し、実り多い学校生活にしていきます。

運営委員会



全校児童

クラブ活動



- 音楽クラブ
- アートクラブ
- 家庭クラブ
- 園芸クラブ
- 手話クラブ
- イラストクラブ
- 球技クラブ
- バスケットボールクラブ
- 体育クラブ
- パソコンクラブ
- 写真クラブ
- 英語クラブ



年間行事

様々な行事を通して、
子どもたちは人との関わりや、
自己表現など多くを学び、
成長していきます。



▲ 入学式



▲ 4年生 聖書をいただくミサ



▲ 3年生 社会科学習



▲ 2年生 田植え



▲ 2年生 稲刈り



▲ 運動会



▲ 4年生 林間学校



▲ 3年生 夏期学校



▲ 5年生 林間学校



▲ 学芸会



▲ 学園の日ミサ

年間行事

4 APRIL	5 MAY	6 JUNE	7 JULY	9 SEPTEMBER	10 OCTOBER	11 NOVEMBER	12 DECEMBER	1 JANUARY	2 FEBRUARY	3 MARCH
前期始業式 入学式 父母総会 前期児童会選挙 定期健康診断 緊急引取訓練	学校見学会 学園の日ミサ	運動会	3年夏期学校 4・5年林間学校	神私小水泳大会 授業参観 親子鑑賞教室 神私小音楽会	前期終業式 入学試験・発表 後期始業式 後期児童会選挙	学芸会 体力測定 オープンスクール	待降節の集い 2年生お餅つき クリスマスミサ	卒業試験 展覧会	6年修学旅行 神私小児童造形展 学年末試験 カトリック小学校 連合音楽会	卒業ミサ 卒業式 修了式



▲ 待降節の集い



▲ おもちつき



▲ クリスマスミサ



▲ 展覧会



▲ 6年生 修学旅行



▲ 卒業式

施設紹介

歴史ある校舎は木の温もりにあふれ、教室以外の施設も明るく充実しています。最新の設備も備え、子どもたちが安全で集中して学習に取り組める学び舎となっています。



▲講堂



▲図書館



▲階段



▲御聖堂



▲廊下



▲中庭



▲ロッカー室



▲家庭科室



▲宗教室



▲一輪車場



▲教室



▲体育館

沿革

名称 横浜雙葉小学校
創立 大正3年3月21日
創立者 「幼きイエス会」会員
 マザー・マチルド・ラクロット
設置者 学校法人横浜雙葉学園
理事長 鈴木 真(令和2年就任)
校長 池田 純一郎(令和4年就任)
所在地 〒231-8562
 横浜市中区山手町226番地
 電話 045-641-1628
 FAX 045-664-2410
 HP <https://www.y-futaba-e.ed.jp>

教職員構成

校長1・教頭1・教諭22・養護教諭1・司書教諭1
 司書1・講師10・ICT支援員1・事務員3・用務員4・校医4
 児童在籍数女子約500名

施設

校舎/鉄筋コンクリート地上3階一部地下2階・普通教室
 特別教室・図書館・体育館・聖堂・中庭・学級園・教材園
 グラウンド(小・中・高兼用)・講堂(小・中・高兼用)

校章



校訓

徳においては純真に
 義務においては堅実に

学校大要

■明治

5年6月 創立者マザー・マチルド来日
 33年4月 紅蘭女学校開校

■大正

3年3月 紅蘭女学校附属校初等科設置
 12年9月 関東大震災により校舎全焼
 14年8月 校舎竣工

■昭和

20年 5月 横浜大空襲のため校舎全焼
 26年 3月 私立学校法により雙葉小学校と改称
 31年 9月 小学校校舎現在地に竣工、移転
 33年10月 横浜雙葉小学校と改称
 50年 9月 図書館竣工
 56年 4月 体育館・特別教室竣工

■平成

元年 5月 瀬上自然教室開設
 9年 9月 パソコンルーム開設
 10年 8月 聖堂完成・校舎耐震工事完了
 11年11月 校内ネットワーク完成
 12年10月 学園創立100周年
 15年 4月 二期制に移行
 16年 4月 小学校創設90周年
 8月 体育館耐震工事完了
 11月 小学校親子同窓会
 「マーガレットの会」発足
 20年 4月 鈴木 真 神父 チャプレン就任
 26年 4月 小学校創設100周年
 8月 ロッカー改修
 27年 8月 家庭科室・保健室改修
 29年 8月 中庭改修

■令和

2年 9月 鈴木 真 神父 理事長就任
 4年 4月 池田 純一郎 校長就任
 4年 6月 マザー・マチルド来日150周年記念ミサ

ACCESS MAP

横浜雙葉小学校は横浜市中区の緑豊かな山手の丘に位置しています。近くには元町公園や多くの西洋館もあり、外国人墓地には学園の創立者マザー・マチルドも眠っています。



電車

みなとみらい線「元町・中華街駅」またはJR根岸線「山手駅」より徒歩15分

バス

横浜市営バス「上野町バス停」または「妙香寺バス停」、神奈川中央交通「元町公園前バス停」より徒歩5分

スクールバス

学校～桜木町駅を直通で結ぶスクールバスが、登校と下校の時刻に合わせて運行されています。



冬制服

夏制服



横浜雙葉小学校